



発行所
岐阜県中小企業団体中央会
 岐阜市数田南5丁目14番53号
 岐阜県県民ふれあい会館8階
 毎月20日発行 購読料 年間1,500円(1部125円)
 事務局直通電話
 管理調整チーム 058-277-1100(代) 組織指導チーム 058-277-1101
 広報・事業チーム 058-277-1102 情報チーム 058-277-1103
 事務局FAX番号 058-273-3930
 東濃支所 0572-25-0865 飛騨支所 0577-34-4300
 東濃支所FAX番号 0572-23-7431 飛騨支所FAX番号 0577-36-4220



← 事務局代表者懇談会 (高山会場)



秋の美濃焼新作展示会 →

2006
11 月号

主な記事

中央会の動き(事務局代表者懇談会ほか)	2~3	岐阜県事務所通信(東京事務所)	6
組合等の動き(秋の美濃焼新作展示会ほか)	4~5	10月の景況調査	7
組合クリニック(組合Q&A)	5	事務局および研修会の案内、秋の叙勲・褒章ほか	8~9

時の課題

組合法等の一部改正法が、来年4月に施行される。この改正は、組合制度創設から50年以上経過し、一部に制度と実態に乖離が生じてきていること、つまり、組合は、組合員の相互扶助の精神に基づく自治運営により行われることが基本であるが、異業種・大規模組合の出現、事業内容の複雑・高度化等により、それが効果的に機能しない場合もあって問題が生じた事例もあることから、組合の自治運営が効果的に機能するよう、組合運営の全体が見直されたもの。

今一度、組合運営の点検を

改正内容は、組合全般に関するもの及び共済事業を行う組合のみに関するものに区分されるが、本稿では前者のうち主なものを紹介したい。

組合全般に係るものとして、役員任期の変更(理事3年以内 2年以内、監事3年以内 4年以内)、現在会計監査のみ行っている監事への業務監査権の付与(ただし、組合員1,000人以下の組合は、定款で会計監査のみに限定できる。この場合、理事会の招集権等組合員の権限を強化。逆に言えば、定款に定めなければ業務監査権限を有することとなる。)理事による利益相反取引の制限、会計帳簿の10年間の

保存義務、会計帳簿の閲覧を求めるのに必要な組合員数の引き下げ(1/10 3/100)等がある。

また、大規模な組合(1,000人超)には上記の監事の業務監査権の付与のほか、員外監事の設置の義務化、余裕金の運用制限等がなされている。

上記のほかにも、監事の理事会議事録への署名、総会における理事・監事の説明義務など非常に広範囲の改正となっている。また、一定の経過措置が設けられている。

中央会では、岐阜市、高山市で研修会を行い多くの方にご参加いただいた。また、この22日には多治見市での開催を予定している。今後とも、より具体的な事項について再度の研修会の開催、機関紙への掲載等様々な形で情報を提供していきたい。

この改正が広範囲であり、定款変更や組合運営方法の変更が必要となる場合もある等組合のトップの判断が必要だ。法改正にどう対応するか検討されるとともに、これを契機に、法や定款に沿った適切な運営(事業運営、総会や理事会の諸手続き、決算の処理など)がなされているか今一度点検することも無駄ではないのではないかと。

県下2会場で事務局代表者懇談会を開催

中央会は、組合事務局代表者の方々相互が『組合』の更なる有効な活用について話し合うため「事務局代表者懇談会」を10月26日に未来会館(岐阜市)、11月7日に飛騨・世界生活文化センター(高山市)で開催した。

両会場合わせて79人が出席。冒頭、本会の大野専務理事が「他組合の取り組み事例からそれぞれの組合の方向性や課題解決の糸口を見つけて頂きたい。また、中央会の強味の一つは、多くの業種の組合に加入いただいていること。この懇談会では、多くの交流を期待している。」と挨拶した。

第一部の懇談会では、各会場とも6組合からの組合運営の状況や取り組んでいる事業についての説明のあと、意見交換会を行った。また、第二部の交流会では、和やかな雰囲気の中、岐阜会場においては辻会長も同席して、組合の持つ機能や役割について、活発な意見交換が行われた。

懇談会での組合からの報告は次のとおり。

岐阜県眼鏡商業(協) = 眼鏡店の社員教育を行うため、3年間継続して受講した者に「岐阜眼鏡士」を認定している。また、新聞広告の継続的掲載やホームページによる情報発信、社会貢献としては、盲学校の循環相談のほか、アイバンクへの寄付やボランティア活動などを行っている。

長良川ウッド(協) = 組合では、杉を中心に製材工場、プレカット工場を管理・運営している。『長良杉ブランド』の確立を目指して、イベント等に積極的に参画し、長良杉のPRに努めている。

関連合刃物(協) = 青年部を中心に活発な活動を行っている。組合会館の老朽化が進んでおり、今後の課題。また、騒音問題や環境問題についても近隣住民に配慮し、積極的に取り組んでいる。

岐阜県可児工業団地(協) = コスト削減が図るため、組合がまとめて電気を購入し、組合員へ配電する共同受電事業を実施している。今後も、組合員を統率し、目に見えるメリットを提供していく。

川崎岐阜(協) = 委員会や部会を設置し、それぞれが組合事業を企画している。多様化・高度化し、成熟した組合員のニーズを組合事業に反映できるかが大きなポイントである。その他、保養施設等と契約を結び、従業員の利用に込めている。

岐阜県金属工業団地(協) = 団地内に光ファイバー網を敷設し、工場内の火災報知器の集中管理を開始した。また、I A M A S と協定を結び、団地内の情報化に向けた研究を行っている。今後は、Webカメラを工場内に設置し、監視体制の確立を目指している。組合では、青年部を交えて組合の方向性を示すビジョンを策定している。

岐阜県清掃事業(協) = 廃棄物を取り扱う組合では、ペットボトル、ガラス瓶など、組合員が共同でリサイクル施設を建設し、稼働率UPを図っている。

物流ネットワーク中部(協) = 全国各地の求車情報(荷物を運ぶ車を探す)と求荷情報(運ぶ荷物を探す)を知ることが出来るシステム「ローカルネット」を上手く活用し、輸送の効率化とコスト削減の成果をあげている。

(協)下呂ショッピングセンター = 組合員間で事業実施の際など温度差があり、改善策を模索している。また、数年後に建物のリニューアルを検討しており、店舗構成など戦略を持ちながら進めていく。

下呂温泉旅館(協) = 地域団体商標『下呂温泉』を取得し、地域で協力しながら下呂温泉というブランドを作っている。また、宿泊客に対して、名古屋～下呂間の直通バスを低価格で運行している。その他、手形を購入すると組合員の温泉施設に3軒入れる、湯めぐり手形事業を実施するなど、観光客誘致に努力している。

(協)飛騨木工連合会 = 高級品やオーダーメイドに特化 製品の向上、ブランドの確立 海外市場での認知が確立できた企業は成果をあげている。飛騨の家具と企業イメージをブランド化し、特徴あるデザインに取り組んでいる。

高山市公設市場買受人(協) = 高齢化による廃業、後継者問題等を抱えており、組合員の減少が進んでいる。これに歯止めをかけるため、若者に参画してもらい研修会等を行っている。

高山管設備工業(協) = 組合と2つの企業で設立した「(株)高山管設備グループ」が、全国で初めて上水道事業の指定管理者となった。高山市に対し提言書を提出したのがきっかけとなり、組合の取り組みが進行している。

(協)スカイドーム・神岡 = 組合で管理・運営している「スカイドーム」が道の駅に指定され、来場者が増えた。組合では、様々なイベントを企画し、芝居小屋「船津座」との協賛事業も実施している。その他、スカイドーム「お宝塾」を立ち上げ、新商品開発に取り組んでいる。

飛騨のさるぼぼ製造(協) = 地域ブランドとして「さるぼぼ」の登録を目指しているが、抜け道もあるので、関係企業に賛助会員として加入してもらい、地域ブランドを守っていく。

「記載した組合活動を詳しく聞きたい」、「我々の組合でもこんな面白い活動をしている」などのほか、中央会に対する意見、相談等がございましたら、積極的にご連絡下さい!

広げよう連携の絆 新たなる飛躍のとき

第58回中小企業団体全国大会・12項目を決議

わが国の経済が激変する中で、経済の活性化や地域経済再生の担い手である中小企業の大いなる発展と連携の絆を広げ、連携組織をより強固にするため、「第58回中小企業団体全国大会」が10月19日に渋谷C.C.Lemonホール(旧名称:渋谷公会堂)で開催された。全国各地から約2,100人の中小企業者が集結し、本県からは、辻正会長をはじめ、大垣市鉄工協、川崎岐阜協、青年部、県火災共済協、飛騨木工連合会から参加があった。

同大会には、甘利明経済産業大臣をはじめ、関係機関代表等多数の来賓が臨席されたほか、安倍晋三首相からメッセージが寄せられた。

議事では、国等に対する要望事項として12項目の決議案が上程された。この決議案は、全国各地の組合から出た要望事項を各ブロック(本ブロックの要望事項は本紙8月号に掲載)で取りまとめ、さらに全国で集約した要望事項で、決議案は全て原案どおり可決決定し、決議事項の早急な実現を求める『大会宣言』が採択された。

決議事項は次のとおり。

- 中小企業対策・中小企業連携組織対策の拡充・強化、組合制度のさらなる改善
- 中小企業金融対策の拡充
- 信用組合に対する支援の充実

中小企業関係税制等の充実・強化等
抜本的な事業承継税制の確立

中小企業を重視した労働・教育政策の推進
社会保障制度改革に関わる企業負担の抑制等
中小企業並びに官公需適格組合への官公需発注の増大実現

改正まちづくり三法の実効ある運用と中小商業・物流業・サービス業振興対策の強化
不当廉売等の防止及び下請取引の適正化の強化
環境・資源・安全対策への支援強化

組合等を中心としたICT対応支援策の拡充
また、表彰式では優良組合32組合、組合功労者72名、中央会優秀専従者38名が全国中央会会長表彰を受賞した。本県の被表彰者は次のとおり。

優良組合 = 岐阜県プラスチック工業組合(大松利幸理事長) 組合功労者 = 兼松誠吾氏(関金属工業協同組合・理事長) 中央会優秀専従者 = 神谷敦子氏(管理調整チーム・スタッフ)

来年の第59回全国大会は、全国中央会及び都道府県中央会が主催して、東京都で開催することが決定された。なお、詳細は決定次第、会報紙等に掲載します。



連携組織の活用を積極的に推進

中央会は、『中小企業組織化戦略のすすめ』として、10月17日に県民ふれあい会館で「連携組織活用パワーアップシンポジウム」を開催。今月からは県下5会場で「中小企業連携組織活用ミーティング」を開催している。

シンポジウムでは、現在注目を集めているLLP(有限責任事業組合)の活用戦略について、税理士の宮崎剛氏(インブルームLLP)の基調講演、続いて、「LLPを活用してみよう!~先進事例研究~」と題して、有限責任事業組合トライアウトえひめの田端剛爾顧問、店舗有限責任事業組合の横井裕一組合員を交えて、パネルディスカッションを行った。

宮崎氏は講演の中で、「顧客のニーズは年々複雑

化してきている。こういう時代は、企業等が単独で行動するのではなく、自らの得意分野について相互に知的ネットワークを形成し、総合的かつワンストップのサービスを提供することが望ましい。」と話し、中小企業連携のための受け皿の一つがLLPであると説明した。

開催中の組織活用ミーティングは、今月29日に最終会場として可茂総合庁舎(美濃加茂市)5-1会議室で行います。組織化やLLPに興味がある方は、是非ご参加下さい。また、資料等を希望される場合は、組織指導チームまでご連絡をお願いします。



辻会長が組合訪問を執行中

辻正会長は、組合の現場の声などをお聞きし、本会組合支援の充実を図るため、組合訪問を実施している。

10月には、岐阜市内及び東濃地区の7組合を訪れ、

先に実施した「中央会役員懇談会in上海」の報告などを交えながら、組合役員と意見交換を行った。なお、今後も随時実施していく予定。



◆年末の交通安全県民運動「無事故で年末 笑顔で年始」
実施期間 11月11日(月)～11月20日(水)

【岐阜県交通安全対策協議会】

秋の美濃焼新作展示会

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会(加藤愛之輔理事長)は、「秋の美濃焼新作展示会」を10月28日から3日間、多治見市東町のセラミックパークMINOで開催した。

美濃焼の一層の振興を図るため、その技術力と新たな可能性をアピールし、需要を喚起しようと開催されたもので、75社から和洋食器を中心に177点が

出品され、中小企業長官賞には小田陶器(瑞浪市)の「Rin・凜器揃え」、岐阜県中小企業団体中央会長賞には一峰窯(市之倉町)の「酒器・月夜の兔」など全部で53作品が受賞した。

会場には、食器のほか、発光する空気清浄機を陶器の中に入れた作品など、各社が工夫を凝らしたアイデア作品も展示されていた。なお、優秀作品は11月16日から名古屋ドームで開かれる「ドームやきものワールド」に出品される。

創立40周年記念式典を開催

関連合刃物協同組合(炭竈利夫理事長)は、「創立40周年記念式典」を11月3日にラ・マーレ(関市)で開催し、約100人が出席した。

炭竈理事長は「海外製品との競合、環境問題など様々な問題に取り組みながら、今後も組織の力を活かし、持ち前の機動性、柔軟性、創造性を発揮して、地場産業発展のため努力していきたい。」と挨拶。式典では、組合功労者や優良職員の表彰のほか、スライドを使って組合40年の歴史を振り返った。



花木センターが花・木の供養祭と記念植樹

協同組合日本ライン花木センター(柳惣悦理事長)は、11月5日に花・木のほか、使えなくなった道具や花器などに感謝する「供養祭」と、秋篠宮悠仁親王殿下のお印となった高野槇の記念植樹を行った。

センター駐車場に設けた祭壇に、植木鉢や剪定ばさみなどを並べて読経や焼香を行った。

柳理事長は、「理事長就任時に組合員の方から『花や木への感謝の心を忘れずに』と言われて発案した。今後も心をつちかして組合運営に尽力したい」など抱負を語った。



芸妓さんが下呂温泉をPR

下呂温泉芸寮協同組合(井上廉理事長)は、特急ワイドビューひだの車両内で、おしぼりと下呂市で栽培された茶葉を使ったお茶のペットボトルをプレゼントし、下呂温泉への来訪を呼びかけた。

このイベントは、「ぎふデスティネーションキャンペーン」(来年10月~12月)に向けて全国宣伝販売促進会議(岐阜市)の開催に伴い実施された県内観光モデル5コースの内の飛騨視察を終えて戻る全国の観光関係者に対して、下呂温泉をPRしたものだ。

初開催「秋の文化・産業フェスティバル」

e g g 実行委員会(北村斉会長)などが主催し、県と協同組合飛騨木工連合会が共催した「2006飛騨・高山 秋の文化・産業フェスティバル」が10月20日から3日間、飛騨・世界生活文化センターで開催された。

同フェスティバルは、飛騨を中心に県内産業の製品をそろえ、「見て買って参加して」をキーワードに今年初めて企画したもので、飛騨の家具メーカーや

クラフトショップなどから、テーブルや椅子、陶器の置物、美濃和紙の灯など約1,500点が出品された。

展示即売会場では、市価の3割から5割引きで購入できるとあって、初日から大勢の人が訪れ、質感やデザインを確かめていた。



「岐阜県防犯設備協会」4組合が参画

優良な防犯機器・設備等の普及促進を図るとともに、空き巣犯罪の抑制に貢献するため、9団体が発起人となり「岐阜県防犯設備協会」が設立された。10月2日に設立総会が行われ、組合では県電気工業(工組)、県建築設計監理(協)、県ビルメンテナンス(協)、県板硝子商(協)が参画している。

今後、「防犯優良マンション認定制度」を審査する防犯設備士の育成、防犯機器・設備の防犯診断、防犯に関する講習会や展示会の開催などを行っていく。

協会では、「優良施設の認定を通して地域の防犯向上に結びつけたい。会員との連携を密にして、安全で安心して暮らせるまちづくりに貢献したい。」と話していた。

飛騨生コンが防犯活動に協力

飛騨生コンクリート協同組合(三輪義平理事長)は、県が実施している「安全・安心まちづくりフレンドリー企業」に登録し、その出発式を10月19日に組合事務所で行った。

組合では、「組合員工場が飛騨一円に幅広く分布しているため、一般市民の監視の目が届かない区域

まで幅広く巡視活動を展開し、地域の安全、防犯活動に寄与していく。」と語り、ステッカーを貼付した約150台の生コン車が

業務と併せて巡視活動を行い、安全・安心なまちづくりに協力することとなった。



特許庁が地域団体商標の登録査定を発表

本年4月に地域団体商標制度がスタートし、全国から600件以上の出願が行われているが、特許庁は4月に1000件以上の出願が審査され、うち52件について商標登録すべき旨の査定をし、10月27日に1000人に対して通知した。

県内からは、岐阜提灯(協)『岐阜提灯』、下呂温泉旅館(協)『下呂温泉』、岐阜県寒天水産(工組)『山岡細寒天』、飛騨一位一刀彫(協)『飛騨一位一刀彫』、飛騨酪農(農協)『飛騨牛乳』の5件の出願が認められた。なお、査定の送達があった日から30日以内に登録料の納付があったとき、商標権の設定の登録が行われ、商標権が発生することとなる。

2組合が高山市から表彰

高山管設備工業協同組合(砂田信博理事長)、下呂管設備工業協同組合(田口登貴雄理事長)の2組合が、高山市より「災害防護功労」の表彰を受けた。

高山市制施行70周年記念日の11月1日に、市民文化センターで開かれた記念式典の中で表彰式が行われ、砂田理事長は「今後も市民の生活を守るという意識で業務にあたりたい。」と抱負を語った。

福祉施設に対し奉仕活動

高山市公設市場買受人協同組合(林利夫理事長)は、毎年行っている奉仕活動の一環として、11月8日に「高山山ゆり園」をはじめ、飛騨地域にある7つの福祉施設を慰問した。

組合員は、マグロのお造りとハンバーグを慣れた手つきで調理し、昼食に合わせて配膳した。組合では、今後とも機会あるごとに福祉活動に力を入れ、地域に貢献することとしている。



農業フェスティバルで組合をPR

「第20回農業フェスティバル」(主催=岐阜県農業フェスティバル実行委員会)が10月28、29日の両日、岐阜アリーナ周辺で開催され、岐阜県米菓工業(協)、岐阜県製麺(協)、岐阜県寒天水産(工組)、岐阜県菓子(工組)、岐阜県酒造(協連)、岐阜県食肉(協連)などが

地域食品を販売した。各組合では、のぼり、POPなどで工夫を凝らし、特産品を169,600人の来場者にPRしていた。

また、県庁前公園で同時開催された「森と木のふれあいフェア」には、岐阜県木材(協連)や長良川ウッド(協)が出展し、木工教室を行うなど、木との触れ合う場を演出した。

本屋が中学生向けに書籍を推薦

岐阜県書店商業組合(木野村祐助理事長)は、中学生向けの読書推進キャンペーン「本屋のオヤジのおせっかい 中学生はこれを読め」を来年1月15日まで実施している。

このキャンペーンは、子供達の活字離れが進む中で、本屋の店主が「中学生に読ませたい1500冊」のお勧め本を紹介し、少しでも興味、関心を持ってもら

おうと、愛知県及び三重県の組合と共同で企画したもので、県内では26書店が参加している。

組合では、「読んで良かったと思える作品ばかりを推薦している。対象の書籍には黄色い帯が付いているので、多くの中学生に読んでもらいたい。」と抱負を語った。



岐阜眼鏡士認定講習会が閉講

岐阜県眼鏡商業協同組合(木方伸一郎理事長)は、10月26日に組合会館で「岐阜眼鏡士認定講習会閉講式」を開催した。

当日は、10名の受講者に対し、3年間に渡り学習した成果を判定する筆記試験と実技試験が行われ、続いて行われた閉校式には、本会の辻会長も出席した。今後、県・中央会・組合で作る認定委員会で合否判定がなされ、合格者には認定証が渡される。

組合クリニック(組合相談Q&A)

組合から相談のあったケースをご紹介します。組合において相談事項があればどんな事でも構いませんので、中央会(058-277-1100)までご連絡下さい。

Q. 本社が組合の地区外にある企業から、組合に加入したいとの話がありました。組合の地区内には企業の支店があります。このような場合は、組合への加入資格はありますか。

A. 中小企業等協同組合法第8条第1項では、組合員の資格について、「事業協同組合の組合員たる資格を有する者は、組合の地区内において事業を行う小規模の事業者」と定めています。

「地区内において事業を行う」とあるのは、組合が定款に定めた地区内において、組合員資格にかかる事業を行う拠点を有しているという意味です。従って、本社の所在地は組合の地区外であるが、支店(営業所、出張所等)が地区内にあり、かつ、定款に規定された組合員資格にかかる事業を行っている場合には、加入資格があることとなります。

なお、独立の法人格を有しない支店や営業所は事業主体とは解されないため、組合員資格はなく、法人そのものが事業者であり、組合員となります。実務的には、加入申込書に「本社の名称、代表者名、所在地、事業の種類、従業員数、出資総額、引受出資口数」と「支店(営業所等)の名称、代表者の資格・氏名、所在地」などを並記し、本社の記名捺印をして組合に提出いただくこととなります。

◆ 従業員のスキルアップに放送大学を利用してみてはいかがですか?

【資料請求・問い合わせ先】放送大学岐阜学習センター

Tel 〇五八・二七三・九六一四

岐阜県事務所通信(東京編)

“ものづくりのまち”大田区の取り組み

東京事務所(大垣市研修生) 中川 智臣

“ものづくりのまち”東京都大田区の産業振興の取り組みについて紹介します。

大田区工業の特徴

東京都大田区は、従業員9人以下の企業が約82%を占める“中小零細企業のまち”で、中でも機械金属工業は、工場数において区内全工場数の80%以上を占め、市街地内には工場が密集し、その個々の企業が専門的に特化した技術・技能を有し、関連する全ての業種が狭い地域内に集積しています。

しかし、工場の移転、廃業等による跡地に集合住宅(マンション等)の建設が増加し、既存工場主と建築主や入居者との間で工場の操業をめぐる紛争が生じ、深刻化しました。そこで、区では問題解消のために高層住宅と合築した分譲型アパートや賃貸型の工場アパート等を建設し、市街地で住環境と調和した工業基盤の整備に取り組んでいます。

産業と生活が共存するものづくり

ものづくりを支える機械金属関連産業の維持と発展、産業集積の活性化をめざし、「住工調和環境整備事業」の一環として5階建てのビルに48の工場ユニット、7階建て27戸の中小企業用住宅を併設した首都圏最大級工業アパートを建設しました。

入居開始から6年経過して入居企業間においても、異業種交流や工業集約効果を生かし、製品の完成までを素形材・部品加工、表面加工等アパート内の企業で対応するネットワーク型の受注や高度な新製品開発・製造を個々の技術を生かして協同で取り組む等新しい連携が生まれています。

入居企業の方と面談した時も「同一建物でのネットワーク型の受注や仕事回しがしやすく、確実に任せられるということで取引先からの信頼が高まった。」や「操業環境の改善による従来の3Kイメージが払拭され後継者が育ってきた。」、「ものづくりの楽しさを入居企業から教えられた。」等の意見が多く聞かれました。

また、異業種交流が盛んになり活動する中で、ほとん

どの企業が良い製品を作っても販売することが不得意であるという問題点がありました。

そこで、それぞれの企業が製造した製品を集約し、販売促進に取り組むために、核となる区内の9社が集まり、ものづくりに関する相談・受注・販売システムの構築を目的とする組織「オオタコレクションネットワーク」を立ち上げました。

そして、この10月からの試みとして、ネット上に“ものづくりの現場”ならではの商品・サービスの提供を通して、中小製造業が主役となる、新しいビジネス基盤をつつていくことを目指したサイトを作成しています。

サイトでは、技にこだわり続ける職人さんひとひとりにスポットを当て、彼らが生み出す、まさに「アート」ともいえるべき優れた技術や製品も紹介しています。

今後は、ものづくりの魅力の紹介・提供を中心として、地域を超え、都内、全国とあらゆる地域のものづくりの現場とつながりながら、日本が誇るものづくり中小企業の活躍のフィールドを大きく広げていくことを目指しています。

「オオタコレクション」(www.otacollenet.com)

最後に

中小企業を取り巻く厳しい経済情勢や産業構造の転換に対応するために、大手企業等からの受注に頼る「下請け依存体質」からの脱出、研究開発型企業や消費者に直接アピールする生活密着型製品開発企業への転換が求められています。

大田区では、地域におけるリーディング産業の創出等を支援するため、オンリーワン企業の育成や企業と大学研究機関による産学連携のサポート、ナノテク等の最先端産業分野での新製品開発等中小企業を支援する施設の開設等、中小企業からの意見を聞きながら様々な中小企業支援施策に取り組んでいます。



本羽田二丁目第2工場アパート(テクノWING)

景況感の改善傾向続く

原材料価格等の高止まりが課題

10月景況調査

中央会が主要業種85組合(うち83組合による集計)を対象にまとめた『10月の特色』は次のとおり。

【10月の特色】組合から見た県内中小企業の特色は 景況感の改善傾向続く、 原材料価格等の高止まりが課題 となっている。

10月の景況動向を前年同月比景況感DI値で見ると、DI値は、マイナス14となり、前月のマイナス18に対し、4ポイントの改善になっている。また、平成12年4月からの調査で最も高い数値(昨年11月と同数値)となった。主な変動要因は、前月同様、「悪化業種」の減少によるものである。

他の主要な調査項目のDI値は、前月の動向に対し、売上高DI値5ポイントの改善、販売価格DI値9ポイントの悪化、収益状況DI値7ポイント改善の動きとなった。売上高DI値の改善要因は、好転の増加であるが、収益状況DI値は、悪化から不変への変化による要因が大きく、今後の動きはまだ楽観できない。

業種別の特徴的なものとしては、概ね前月と同様、機械関係業種の堅調が持続していることである。

コメントによれば、燃料価格については安定して来ているが、原材料価格等の高止まりによるコスト増と価格転嫁難を指摘する意見が多くの業種から出ている。また、今月は、暖かい天候の影響で行楽客の増加などにより、観光物産品に需要回復の動きが出ている一方で、アパレル、クリーニングは低調であった。

県内中小企業主要業種の景況動向 (10月末調査)

表の見方：売上・景況感： 好転・増加 変わらず 悪化・減少

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳・乳製品 豆腐 食肉(国産) 菓子 米 寒天水産物 製菓	系						
		工業						
		織物						
		織物						
		織物						
繊維・同製品	ニット 毛織物 合成繊維織物 メンズアパレル 婦人・子供服 縫製(既製服)	系						
		工業						
木材・木製品	製材 銘木 集成材 家具(飛騨地区) 東濃ひのき	材						
		木						
紙・紙加工品	家庭紙 特殊紙 紙加工品	紙						
		紙						
印刷	印刷							
化学	プラスチック							
窯業・土石	陶磁器(工業) 陶磁器(輸出) タイル	窯業						
		窯業						
		窯業						

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
窯業・土石	窯業 原料 石灰 生コンクリート 砂利生産 砕石生産	窯業						
		原料						
		石灰						
		生コンクリート						
鉄鋼・金属	铸件 刃物等金属製品(輸出) 刃物等金属製品(内需) メッキ	铸件						
		刃物等金属製品(輸出)						
一般機械	県金属工業団地 可児工業団地 金型	県金属工業団地						
		可児工業団地						
電器機械器具	電気機械器具 輸送用機器	電気機械器具						
		輸送用機器						
各種物産品	各種物産品(観光) 各種物産品(ギフト)	各種物産品(観光)						
		各種物産品(ギフト)						
卸売業	医薬品卸 電設資材卸 陶磁器産地卸 機械・工具販売	医薬品卸						
		電設資材卸						
		陶磁器産地卸						
		機械・工具販売						
小売業	青果販売 水産物商業 家電機器販売 メガネ販売 中古自動車販売 石油製品販売 共同店舗(東濃) 共同店舗(飛騨) 生花販売	青果販売						
		水産物商業						
		家電機器販売						
		メガネ販売						
		中古自動車販売						
		石油製品販売						
		共同店舗(東濃)						
		共同店舗(飛騨)						
		生花販売						
		生花販売						
商店街	岐阜市商店街 大垣市商店街 多治見市商店街 恵那市商店街 高山市商店街	岐阜市商店街						
		大垣市商店街						
		多治見市商店街						
		恵那市商店街						
		高山市商店街						
サービス業	自動車車体整備 自動車タイヤ整備 長良川畔旅館 下呂温泉旅館 高山旅館 クリーニング 広告美術 情報サービス業 映像制作 飲食業 ビルメンテナンス 理容・美容業	自動車車体整備						
		自動車タイヤ整備						
		長良川畔旅館						
		下呂温泉旅館						
		高山旅館						
		クリーニング						
		広告美術						
		情報サービス業						
		映像制作						
		飲食業						
建設業	土木(岐阜地区) 土木(飛騨地区) 土木・建築(羽島地区) 建築(各務原地区) 鉄構造物 電気工事 管設備工事 建築板金 木製建具 産直住宅(付知地区)	土木(岐阜地区)						
		土木(飛騨地区)						
		土木・建築(羽島地区)						
		建築(各務原地区)						
		鉄構造物						
		電気工事						
		管設備工事						
		建築板金						
		木製建具						
		産直住宅(付知地区)						
運輸業	貨物運送(県域) 軽運送	貨物運送(県域)						
		軽運送						

事務局だより

新分野進出セミナーを開催します！

中小企業が勝ち残る方策の一つに新分野への進出や新事業の展開があります。中央会は、県内の組合、中小企業のこれからの取り組み支援として、先進の中小企業組合等から、事例発表をして頂き、また、中小企業基盤整備機構から、昨年度制度化された新連携などの組織を上手く活用し、新商品開発等新たな取り組みを進めている事例を紹介するセミナーを企画致しました。

発表組合等詳細については組合宛に郵送しており

ますので、確認下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】12月5日(火)13時30分～15時30分

【場所】グランヴェール岐山「鳳凰」

【テーマ】事例から学ぶ！新分野開拓への挑戦

【発表事例】『黒一色で無機質なアスファルト舗装にピリオド』『豆腐メーカーが新たな分野に挑戦！』『業界の若手が新しい潮流をつくる』

『超軽量セラミックスを開発し活路開拓』

お問い合わせは、広報・事業チーム。

研修生受入組合運営研修会を開催します

中央会は、外国人研修生・技能実習生制度に関する義務と責任を再確認頂くため、岐阜労働局労働基準部監督課から組合及び企業の受け入れ実態等の現

状について説明して頂く研修会を開催致します。

外国人研修生受入事業を実施している組合の皆様は、是非ご参加下さい。

【日時】12月14日(木)13時30分～15時30分

【場所】県民ふれあい会館14階「レセプションルーム」

情報連絡員会議開催のご案内

中央会は、業界の情報の収集、支援機関からの情報の組合への提供をお願いしている情報連絡員の方々を対象に「平成18年度情報連絡員会議」を開催します。

会議では、共立総合研究所江口忍主任研究員の

「変貌する愛知と岐阜県経済～万博、名駅ビッグバンの及ぼす影響」をテーマとする講演後、業界の現況や組合の取り組み等について情報交換を行います。日程等は次のとおり。

【日時】12月7日(木)10時～11時50分

【場所】県民ふれあい会館 301中会議室

秋の叙勲・褒章 中央会関係者

2006年『秋の叙勲・褒章』の受章者が発表されました。中央会関係者の方々をご紹介します。

叙勲

【旭日小綬章】

玉樹成三氏 = 土岐市陶磁器卸商業協同組合・前理事長、中央会・前常任理事

【旭日双光章】

坪内登氏 = 岐阜県時計宝飾眼鏡商業協同組合・理事長

篠田文彦氏 = 岐阜県医薬品小売商業組合・監事

若園信男氏 = 岐阜県自動車整備商工組合・元副理事長

褒章

【黄綬褒章・業務精励】

伊東祐氏 = 益田信用組合・理事長

「経済改革フォーラム」参加者募集！

本会が後援している「経済改革フォーラム」(主催=(財)岐阜県産業経済振興センター)が11月28日(火)に「(株)豊田自動織機の生産革新～ものづくり、心づくり、人づく

り～」と「変化は善～競争力の源泉は変化にあり～」をテーマに岐阜グランドホテルで開催されます。

参加料は無料、定員は150名です。お申込み等は、県産業経済振興センター総務部(058-277-1090)までお願いします。

「中小企業組合白書」のご案内

わが国の中小企業組合の全体像と今後の方向を明らかにすべく、今年度は「多様な連携による新たな事業への挑戦」をテーマに様々な視点から組合の活動事例や最新の組合関係情報を資料として取りまとめた平成18年度版「中小企業組合白書」(発行=全国

中小企業団体中央会)のご案内を致します。

主な内容 組合法等の改正と今後の組合運営、最近の中小企業組合等連携組織の動向、中小企業組合等連携組織の活動事例など

購入を希望される場合は、広報・事業チームまでお問い合わせ下さい。

「中小企業組合実態調査」へのご協力をお願い

全国中央会では、中小企業庁の委託を受け、協同組合等の皆様に「中小企業組合実態調査」をお願いし

ております。本調査の回答期限は9月30日としておりましたが、回答の期限を11月末日までに延長致しましたので、未回答の組合におかれましては、回答にご協力くださるようお願い申し上げます。

「中小企業総合展」開催のご案内

国内最大級のマッチングイベント「中小企業総合展2006 in Tokyo」(主催=(株)中小企業基盤整備機構)が11月29日から12月1日まで、東京ビッグサイトで開催されます。

540の中小企業やグループが出展し、ビジネスマッチングを求める中小企業にとって、新技術・新商品を発見できる魅力的な展示会(昨年の実績:ビジネスコンタクトの割合80.4%、成約率28.9%)です。詳しくは、ホームページ(<http://sougouten.smrj.go.jp/>)をご覧ください。

官公需情報を公開しています! 中央会では、今年度下期に県内の官公庁が発注する官公需情報を一覧表に取りまとめ、ホームページで公開しています。

この情報は県が発注する印刷物、県庁舎の清掃管理、国土交通省が発注する歩道整備工事など「中小企業官公需特定品目の発注計画・特定品目以外の物品・工事・役務の一般競争入札」の発注に関連する情報です。

県内中小企業の皆様の官公需受注確保にお役立て下さい。

官公需情報・官公需適格組合取得などについては広報・事業チームまでお問い合わせ下さい。

工業統計調査への協力について 経済産業省では、製造事業所を対象に平成18年工業統計調査を12月31日現在で行われます。調査の実施にあたっては、本年12月から来年1月にかけて調査員が訪問されますので、組合員企業への周知等にご協力をお願いします。なお、調査票は正確にご記入下さい。内容は、統計法に基づき秘密が厳守されます。

若年者採用を支援「ジョブパスポート」

岐阜労働局からのお知らせです。

昨年よりスタートしたジョブパスポート事業は、企業が若年者を採用する際、若者の社会活動の実績や、活動を通じて身につけたことがわかるとともに、職務経歴の少ない若年求職者への理解が深まり、意欲や適正の把握に役立つことが期待できます。そこで、企業においては、次の取り組みをお願いします。

ジョブパスポートを提出する若者に対しては、社会活

動の参加実績を参考とし、社会参加の意欲や適性、能力を可能な限り積極的に評価していただくこと。

若年者によるジョブパスポートの利用を促すため、募集要領等に次のような記載をいただくこと。「ボランティア活動等、社会活動の経歴についても考慮します。」

なお、ジョブパスポート事業の詳細等については、厚生労働省(<http://www.mhlw.go.jp/>)の若年者雇用対策でご確認頂けます。また、お問い合わせは岐阜労働局(058-263-5519)までお願いします。

企業が農業参入できることをご存知ですか?

東海農政局からのお知らせです。

従来の農業は、農業関係者を中心として組織される「農業生産法人」のみが農地の権利を取得して行う事ができましたが、昨年9月から農業生産法人以外の法人でも農業に参入する(市町村等による農地の貸付方式)ことが可能となり、現在、建設業者や食品関係業者を中心として、参入が進んでいます。

参入するに当たっては、補助事業(研修会の開催や施設整備など)や金融措置などの支援策も用意しておりますので、参入の仕組みなど詳細については、東海農政局生産経営流通部構造改善課(052-201-7271・内2458)までお問い合わせ下さい。

中退共制度の利用は中央会へ

中央会では、中小企業で働く従業員の退職金への支援として、「中退共制度」の利用を積極的に推進しています。この制度は、中小企業の退職金制度を国がサポートしているため、安全・確実・有利な特典があります。

また、平成24年3月末までにはほかの制度に移行するなどの対策が必要となっている適格年金制度からの移行先としても利用できます。組合職員、企業の従業員の方々の退職金について中退共制度の活用をご検討下さい。お問い合わせは、広報・事業チームへお願いします。



12月中

5日 新分野進出セミナー(13時30分~/グランヴェール岐山)

7日 情報連絡員会議(10時~/県民ふれあい会館)

6日 パソコン研修「ブログ簡単ホームページ作成講座」(ドリーム・コア)

14日 研修生受入組合運営研修会(13時30分~/県民ふれあい会館)

10月21日~31日

23日 岐阜地方最低賃金審議会(岐阜合同庁舎)

24日 次世代育成支援対策推進センター全国会議(厚生労働省)

26日 中央会・事務局代表者懇談会(未来会館)

28日 「健康により食品づくり」表彰式(岐阜アリーナ)

30日 日本経済新聞創刊130周年感謝のつどい(名古屋東急ホテル)

31日 岐阜大学地域交流協会・特別講演会(岐阜都ホテル)

11月1日~20日

1日 岐阜県交通安全対策協議会幹事会(水産会館)

3日 関連合刃物(協)・創立40周年記念式典(ラ・マーレ)

7日 中央会・事務局代表者懇談会(飛騨・世界生活文化センター)

13日 第50回全国銘木展示大会記念式典(グランヴェール岐山)

15日 東海北陸ブロック中央会会長会(愛知県南知多町)

16日 ぎふ少子化対策県民連携会議「仕事と家庭両立部会」(県議会棟)



南ひだウッド協同組合

代表理事 倉地 鑽 司

〒509-2506 下呂市萩原町羽根495-6

☎ 0576 52-3988

FAX 0576 52-3828